

6月の安全運転ごよみ

- 1日(月)～30日(火)...「全国安全週間」準備期間、「不正改造車を排除する運動」強化月間
- 1日(月)... 気象記念日 ● 5日(金)... 環境の日 ● 7日(日)～13日(土)... 危険物安全週間

6月の安全運転目標

梅雨の安全運転を再確認

2026年5月29日から、防災気象情報が大きく変わることとなりました。梅雨本番を迎える前に、新制度の「レベル」に応じた内容や、雨天時の安全運転ポイントを再確認しましょう。



警戒レベルごとの判断基準と対応手順を明確に

2026年5月29日から、防災気象情報が大きく変わることとなりました。主な変更点は、大雨や氾濫の警報に「レベル」が付記されたほか、避難が必要なレベル4相当の「危険警報」が新設されました。「レベル3警報」が発令された際には運転計画を見直したり、「レベル4危険警報」では速やかに走行を中止するといった判断が必要になります。また、線状降水帯などの急激な現象は「気象防災速報」として発表されるため、即座に安全な場所へ移動する判断基準としてください。レベルに応じた運転行動を管理者・運転者ともにしっかりと確認、共有しておくことが重要です。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

気象庁「新たな気象防災情報について」

事故事例 冠水したアンダーパスに進入し、立往生

2025年8月7日午前8時過ぎ、富山県高岡市内で、冠水したアンダーパスに進入した軽乗用車を取り残される事故が発生しました。当時、現場では1時間に55mmの非常に激しい雨が降っており、水深は2m近くに達していました。アンダーパスの水深は外から判断しにくいいため、冠水している場合は進入せず、必ず引き返しましょう。



警報発令時には「キキクル」を確認

近年、豪雨によって河川が急激に増水・氾濫し、洪水災害が発生するケースが増えています。運転中にそうした場面に遭遇する危険を頭に入れておきましょう。

気象庁がホームページで公開している「キキクル」では、大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを地図上で確認することができます。

大雨が続いている場合や急に激しい雨が降ったときは、「キキクル」のページにアクセスして、最新の情報を入手してください。平時からプッシュ型通知サービスを登録しておく心安いです。



ヘッドライト点灯で防ぐ雨の事故

雨が降っていても「昼間はヘッドライトを点灯する必要はない」と思っていませんか。

雨天時のライト点灯は、自分の視界を確保するためだけでなく、「周囲の歩行者や対向車に自分の存在を早く気づかせる」効果もあります。

大雨が降っている場合はもちろん、たとえ小雨であっても、雨が降り出したら早めにヘッドライトを点灯して視認性を高めましょう。オートライト機能がある場合も、装置任せにせず、必要に応じて手動で点灯してください。



降雨時にはヘッドライトを点灯して視認性を高めよう

管理者として知っておきたい知識

防災計画等を見直そう

新たな防災気象情報の運用開始により、警報や注意報等の情報名称が大きく変わることとなりました。

そのため、社内の緊急連絡体制の確認とあわせて、防災計画などの点検・見直しを行ってください。「どのレベルで、誰が、何を判断するか」を明らかにし、改めて社内周知しておきましょう。



新たな防災気象情報に対応した体制を整えよう



皆様のご意見をお聞かせください

より良い情報提供のため、取り上げてほしいテーマなど、皆様のご意見をお聞かせください。

